

2025年度外構改修工事を振り返って

工事期間：2025年11月4日～2026年8月31日

この度、2025年11月に着工し進めてまいりました外構改修工事において、無事、計画通りに竣工できた事は、関係各位、居住者のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

工事期間中は、通行規制や迂回、作業音、資材搬入等、居住者様の日常生活に多大なるご不便とご迷惑をおかけいたしました。

今回の工事の特徴は、場内駐車場内での車移動と一部駐車場車室の拡張工事でしたが、車移動等を居住者の協力によりスムーズに行えました。

天候にも恵まれ、工事遅延がほとんどなく、またイラン情勢による原材料等の影響も最小限に抑えられたと思います。

また、今後本工事が居住者様の安心で快適な暮らしを支える一助になると思います。

結びに、工事関係各位並びに居住者のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、竣工の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

修繕委員長 須田 英文



《発行所》
若葉台第一住宅
管理組合
坂戸市千代田4丁目7番30号
電話 049-283-7950
メール: kanri889_new@wakaba1.com
http://www.wakaba1.com/



工事内容：外構改修工事

- ・駐車場車室や車路のアスファルト舗装表層撤去・再舗装及びライン引きを施工しました。縁石やL形V形側溝については不具合部のみ部分補修しました。

ポイント

- ・場内駐車場内の車移動
今回の外構改修工事は、空き駐車場を有効に活用し、スムーズな車両移動を心がけました。駐車場利用者様への案内を密に行い、施工中は歩行者や自転車及び通行車両へも配慮した施工を目指しました。
工事期間中は一時的な通行止めが発生するため、う回路の確保を行うとともに周辺の皆様への周知を行いました。

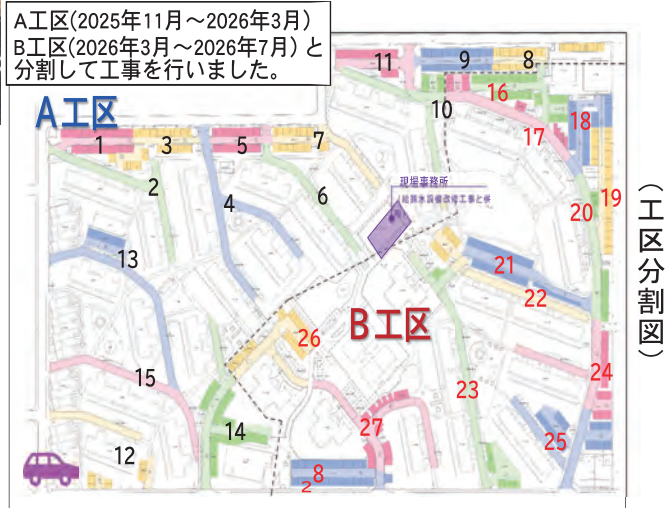


工事の主な流れ(一例)

主な作業の流れ

- 日曜日 対象車両の移動
- 月曜日 アスファルト舗装の撤去+破損部ブロック撤去
- 火曜日 アスファルト舗装の撤去+部分補修ブロック設置
- 水曜日 不陸整生、転圧
- 木曜日 転圧、アスファルト舗装
- 金曜日 ライン引き、車止め設置
- 土曜日 移動車両の復旧

天候に左右される工事の為、常に天気を確認し状況に応じて作業工程・作業人員・重機の確保を行いました



竣工して感じたこと

- ・天候不良による遅延がほとんどなかった
- ・居住者様のご協力により車両移動がスムーズに行えたこと



D・E・F・G・H地区駐車場の一部に、車室の幅を広げる工事を行いました。F・H地区については施工範囲が広いため、お車の移動を2回して頂いた車両もありました。ご協力頂きありがとうございました。



今後とも、若葉台第一住宅の皆様のお役に立てるよう技術の向上に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

建築工業株式会社
現場代理人 松谷 圭将

工事期間中は、若葉台第一住宅の皆様のご理解と多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまでトラブルもなく、非常にスムーズに作業を終えることができました。スタッフ一同、心より感謝申し上げます。今回工事中に中東情勢緊迫化に伴う、資材不足や価格高騰などがございましたが、管理組合、修繕委員の皆様迅速な対応とご判断により無事に工事竣工を迎えることができました。

若葉台第一住宅の皆様

当団地の「管理計画」坂戸市が認定

本年5月24日に
行われた第47回通
常総会において、普
通決議第9号議案
として上程し承認
いただいた「マン
ション管理計画認
定制度」申請につ
きまして、坂戸市
より認定を受け、
10月2日付で認定
通知書が交付され
ました。

当団地で現在実
施中の給排水設備
改修工事は、国土
交通省マンション
ストック長寿寿命化
等モデル事業に採
択され、約1億8
千万円の補助金の
交付が決定、令和
6年度、令和7年
度で既に約8千3
00万円が交付さ
れています。

無事に工事が完
了すれば、残り9
千700万円の交
付が令和8年度に
予定されています
が、今年度からそ
の交付要件に「マ
ンション管理計画
認定制度」認定取
得が加わったため、交付
金を受け取るためには、
認定を必ず取得しなくて
はならない状況となりま
した。

この「マンション管理
計画認定制度」は、適正
な管理体制や修繕計画、
管理体制など16項目の基
準を満たすマンションを
地方公共団体が認定する
制度です。

認定取得によるメリッ
トとしては、管理計画認
定マンション一覧に公表
されマンション管理状況
が公的に証明されるため
中古マンション市場で高
評価が得られる、住宅
ローン等の金利の優遇、
長寿命化工事を行った
場合の固定資産税減額、
適正管理の確認による管
理組合運営の運営改善の
契機になることが挙げら
れます。

通常総会終了後、必要
資料の準備を行い、マン
ション管理士による事前
確認を経て、この度、無
事認定を取得、補助金の
交付要件を満たすことが
できました。

理事長 大野早百合

給排水工事への補助金
今年度分交付条件クリア

2026年度 自主防災会 役員 災害対策本部（自主防災組織）

2026年度 自主防災会 役員				災害対策本部（自主防災組織）			
2026年6月21日							
役職	氏名	号棟号室	管理組合職務	隊名	隊責任者	隊構成員	任 務
会長	尾崎 裕	16-203	副理事長	情報連絡隊	広報部長	役員 防災委員長 棟長	①情報の収集 ②地域災害対策本部（千代田地域交流センター）への情報伝達 ③その他
副会長	大野早百合	2-501	理事長	警備隊	植栽部長	役員 防災委員長 棟長	①当団地内の施設や植栽の状況確認 ②消防隊の誘導等の協力 ③防火、防犯の巡回・点検 ④その他
会計	小塚 伸一	28-101	財務部長	避難隊	コミュニティ部長	役員 防災委員長 棟長 民生委員	①災害時要避難介助者の状況確認 ②避難誘導 ③避難先の状況確認・支援 ④その他
会計	久木田裕美	13-104	植栽部理事	救助・救援隊	総務部長	役員 防災委員長 棟長	①指導介助者の招集 ②救助・救護作業・協力者の招集・指導・実施 ③救急用品の提供 ④医療機関との連絡・調整 ⑤その他
役員	坂田 進一	33-102	副理事長	物資隊	財務部長	役員 防災委員長 棟長	①重要物品の管理 ②災害対応物資の調達と配付 ③その他
役員	堀内 新志	28-604	総務部長	ライフライン隊	施設管理部長	役員 防災委員長 棟長	①電気、ガス、水道等の施設の点検と設置 ②電気、ガス、水道等の事業者との連絡・調整 ③応急給水活動 ④その他
監事	日原 惇	11-203	監事				
監事	東野 行夫	21-103	監事				

第2部は災害対策本部を立ち上げての本格訓練を計画。理事会役員を始め、防災委員、棟長、民生委員、主任児童委員が参加しました。しかし、あいにくの雨模様のため、本格訓練は中止に。

集会室で、対策本部を立ち上げた際の情報連絡隊、避難隊など各隊の役割の確認、防災に関するディスカッションなどが行われ、防災に関する認識を共有しました。黄色いタオル作戦で「作戦が低調なのは宣伝不足だ」「黄色いものを持っていない人もいる」などの意見が出ました。自主防災会としても検討課題です。

自主防災会長 尾崎 裕

「黄色いタオル作戦」年々低調に

当団地の自主防災会が新たな組織となつて初の防災訓練を9月6日に実施しました。

第1部は午前8時30分から恒例の「黄色いタオル作戦」を展開。バルコニーに黄色いタオルをか黄色い物を掲出し、外部から無事を確認しようというものです。掲出数は年々減り、今年は168戸（掲出率18・9％）

共同施設使用料 キャッシュレス決済に

団地内の来客用駐車場、集会所、テニスコートなどの共同施設使用料は申し込み時に現金でお支払いいただいていたのですが、10月1日からキャッシュレス決済の運用がスタートしました。従来通り、現金での決済も可能です。

事務所窓口に置かれた専用端末に各種クレジットカードや、パスモ、スイカなどの電子マネー、d払い、PayPayなどコード決済のカードやスマホの画面などをかざしたり差し込んだりすると決済できます。日本総合住生活（JS）が運用するもので、詳細は事務所窓口でお問い合わせください。

（総務部長 堀内 新志）



久しぶりの救命講習会

先日開催された普通救命講習に参加しました。2回目の参加で、平成20年以来なので、ほぼ初心者です。

当日は講義と実技の2部構成でした。講義では近隣地域

の救急搬送に関する現状を説明していただきました。限られた人員と車両で日々搬送に従事しているとのことで、大変そうでした。我々が協力できることは「呼ぶべき時に呼ぶ」を意識することではないかと思います。

心 肺 蘇 生 と A E D

実技は救命処置の実践でした。若葉台団地にAEDがあることは覚えていましたが、使用までにすべき処置等は忘れていました。しかも今の救命処置は胸骨圧迫だけのようで、自分の知識は昔のままでした。

当日の実技を通して思ったのは、せっかくだるAEDを使える人

救命処置ができる人が増えて欲しいという事です。やればできると思っているも、機会はないし、いざれ忘れます。

胸 骨 圧 迫
このような機会を活用して、再確認や自分の知識を更新し続けることが大事だと思います。

牧野 勝宣



防災センター体験学習会に参加して

8月23日の日曜日、鴻巣市にある『埼玉県防災学習センター』の体験学習会に夫婦で参加しました。

天候は、前日までは雨模様だったが、まずまずの天気でした。最初の見学地である『行田市郷土博物館』へ向かって9時に団地集会所前を大型バスで出発。

『行田市郷土博物館』は忍城本丸跡にあり、忍城の御三階櫓などを見学した後で、一路防災学習センターへ。昼食後、防災VTR視聴、学習センターの係員の案内・説明で体験学習へ。震度体験・最大震度7の体験（東日本大震災の揺れを再現）風速体験、最大風速30mの体験（シャツが脱げそうな風の強さ）、煙室



集 合 写 真



御 三 階 櫓 前 で



暴 風 体 験 コ ー ナ ー

体験・煙中歩行の体験、消火体験・水消火器での消火体験

体験の中では、『震度体験』と『風速体験』がインパクトがあり、地震や台風への日ごろの備えや対応の重要性を感じさせられる体験でした。

特に地震はいつ発生するかわからない、報道では首都圏直下地震は30年以内に70%の確率で発生予想、坂戸市は震度5弱〜5強の予想となっており、家具の転倒防止や日頃の備えの大切さを実感した一日でした。

防災委員 高橋 賢治

宮川さんが受賞

令和8年度「さつき賞」

令和8年度のさつき賞表彰式が8月31日、坂戸市役所で行われ、個人の部で宮川和晟さん（3号棟）が受賞されました。宮川さんには石川清市長から表彰状が渡されました。

坂戸市では毎年、身近なところで住みよい地域社会の実現のために活動が続けている個人または団体をさつき賞として表彰しています。今年度は個人3名、団



体5団体を選定。

宮川さんは、植栽協力会の立ち上げにも尽力され、当団地の大きな魅力である素晴らしい緑の環境維持に貢献されています。

今後、わが団地のため、そしてご自身の体力・健康維持のためにも、長く続けていただけたらと思います。

さつき賞の受賞、本当におめでとうございます。

広報部



若葉台団地

開会式の様子

第44回 千代田地区市民体育祭

今年には地区対抗戦のお話もありましたが、どこの地区も人が集まらず、前年度同様の内容となりました。

（そのお話の中でも、若葉台団地と他1チームのみは地区対抗戦のメンバーを準備できていたことにも驚きです。）

は、若葉台団地は全員参加に近い形で、会場内で白いTシャツがとても目立っていましたね。最後の玉入れに関しては、偶然にもチームカラーの白!! 一番多く球を入れられ勝利することができました。

最高にうれしかったですね。綱引きと玉入れの地区対抗戦がなくなったことで、競技終了時間がものすごく早まりました。しかし、今年は坂戸市市制施行50周年記念ということもあり、大東文化大学全學應援

団による応援披露が行われ、最後に花を咲かせてくれました。天候にも恵まれ、暑くもなく寒くもなく、気持ちのいい体育祭になったのではないのでしょうか？

市民体育祭にご参加いただいた方々、体育祭を陰で支えてくれた役員の方々に、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。自治会副会長 名和奈津子



応援席の様子



おしりて風船わり



競技役員の深野さん



ホールインワンをねらって!!!



競技役員の畑さん



大玉が大きすぎ!!!



おしりて風船わり



競技役員の上本さん

みんなで玉入れ。優勝です🇯🇵

オープン綱引き 身方VS身方(笑)

